GAP認証の農産物って売っているの？

GAPの評価基準を満たした農家には「GAP認証」という安心・安全な作物を提供している証が与えられます。販売店や農家などではGAP認証農産物のパッケージにシールを貼ったり、マークを印刷して一目で分かるようにするという取り組みもありますので、お買い物の際には是非、注目してみてください。

これまでとこれから

本県の農畜産物は東京電力福島第一原子力発電所事故以降、風評被害に苦しめられており、今でも米やもも、牛肉等は、全国平均価格を下回る状況にあります。
JAグループ福島は、こうした状況をなんとか改善しようと、生産者や県と一丸となってGAPに取り組んできました。
今では、GAPに取り組む農家さんの数は、全国でもトップクラスです。
ぜひ、農家の皆さんの頑張りと誇りの証であるGAP農産物をお召し上がりください。

消費者、生産者、環境 みんなにとって、「GOOD」な農業の取組なんだね！

このパンフレットの内容および福島県内のGAP取得についてのお問い合わせ先

福島県農業協同組合中央会

電話 **024-554-3072**

福島県内のGAP取得については、上記または、お近くの農業協同組合（JA）にご相談ください。

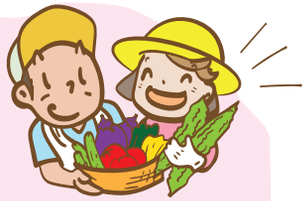
ギャップ GAP ってなに？

JAグループ福島
耕そう、大地と地域のみらい。
JAグループ福島は持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいます。

知ってほしいGAPの取り組み

キーワードは消費者、生産者、環境にとって、**GOOD** な農業

＼GAPってなに？／



GAPとはGood　Agricultural　Practiceの頭文字をとったものです。
農業に関する様々な“リスク”に備えることで、みなさんに『安全・安心な食材』を『これからもずっと』お届けするために、GAPがあります。

GAP ＝ Good（よい） Agricultural（農業の） Practices（やり方）
「適正な農業の取組で生産しよう！」という取組のこと

＼「国産の農産物＝安全」だよね！？／

GAP品に関わらず、農家は安全な農産物を皆さんに自信をもってお届けできるように、様々な注意を払いながら農産物を育てています。
ですが、“安全な理由は？”ときかれると、なかなか説明するのは難しいところです…。
GAPは、その農家が注意しているポイントを再確認し、“見える化”します。

例えば…

農産物が接触する物や場所は衛生的に保ちます。

皆さんの健康を損なう危険性を洗い出し、対策を講じています。

「安全な理由を説明できる」それがGAP品です。

「これからも元気に」＼美味しい農産物をお届けします／

おいしい国産の農産物を皆さんにお届けするためには、農家が元気に農業を続けていく必要があります。
実は、農作業事故の死亡者数割合※は、他産業と比べても突出して高い状況にあります。（比較例：建設業の2倍以上）

※就業者10万人当たり死亡者数（農業従事者ベース）

高いところのものを取ろうとして落下する危険はないか？

農道からトラクターが転倒する危険は？

農作業事故につながる危険個所を点検し、対策をとります。

「これからも元気に農業を続けられる」それを支えるのがGAPです。

＼GAPは世界のアタリマエ？／

GAPは世界各国にひろがっており、国内外の大手食品企業などを中心にGAP認証を受けた農畜産物を求める動きが活発化しています。
また、2021年に開催された東京五輪では、選手村などで提供される食材の調達基準にGAP認証が採用されました。

「国際的に信頼される農家のしるし」それがGAPです。